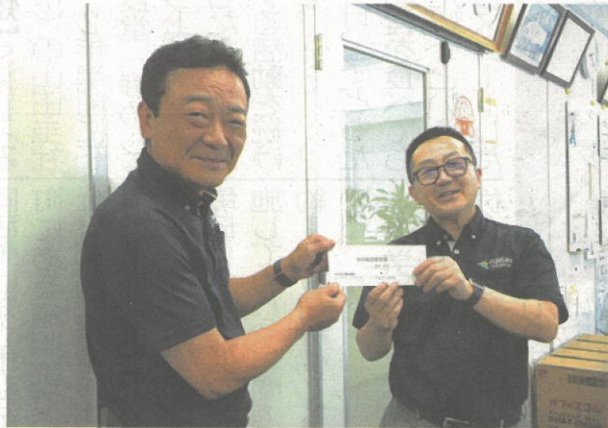


(11) 2025年(令和7年)9月11日(木曜日)

「熱中症対策支援」を手渡す様子＝
(左から) 藤倉社長と角田貴志部長



「熱中症対策支援」手当を支給

藤倉運輸 働きやすい環境づくり

【東京】藤倉運輸(藤倉泰徳社長、足立区)では、夏の猛暑対策として7月に「熱中症対策支援」という手当を社員に出した。
6月に労働安全衛生規則が改正され、職場における熱中症対策の強化が義務化された。同社ではこれまで、経口補水液をトラックに常備

社 会 清 部 青

し、少しでも具合が悪い場合にすぐに休めるような環境づくりを行ってきた。

藤倉社長は「今まで暑気払いの費用に充てたりと、自由に使えるようにした」という。「ネッククーラーやファン付きベストなど統一したものを配布することも考えたが、個人の使いやすさを優先させたい」と説明する。

「ファン付きベストを買うでもいいし、仲のよいグループで暑気払いの費用に充てたりと、自由に使えるようにした」という。「ネッククーラーやファン付きベ

ストなど統一したものを配布することも考えたが、個人の使いやすさを優先させたい」と説明する。同社では健康経営

を推進しており、2025年度にブライト500を取得。4年連続で健康経営優良法人に認定されている。「熱中症対策は健康経営の一環」とみている同社では、日々の点呼などを通して、ドライバーが働きやすい環境づくりに努めている。

(荒沼 澤)